

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使うてほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》

●研究の名称

Test Bolus Tracking (TBT)法を使用した頭部CTAの有用性

●研究の対象

西暦2023年1月1日～西暦2024年4月31日に第1CT室で頭部CT angiography (CTA)を撮影された症例

●研究の目的

頭部CTAでは、血管の状態をより鮮明に見るために、最適なタイミングで撮影を行うことが重要です。Bolus Tracking (BT)法は簡易的で使いやすい撮影タイミング決定方法の一つですが、症例毎で造影効果にばらつきがみられることがあります。一方、TBT法は血流動態による影響を考慮した造影法であり、BT法よりも安定した造影効果が期待されます。

従来、当院ではBT法を用いて撮影を行っていましたが、新たにTBT法を用いた頭部CTA撮影プロトコルを作成し、運用を開始しています。この研究ではTBT法の有用性を評価するために、BT法との比較検討を実臨床データを解析する事で行います。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2024年6月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の《利用する試料・情報の項目》について調査します。

《利用する試料・情報の項目》

●試料：なし

●情報：CT画像

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。

《利用を開始する予定日》

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 放射線科部 松田 一洋

≪試料・情報の管理について責任を有する機関の名称≫

京都第二赤十字病院

≪試料・情報の利用の停止（受付方法含む）≫

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の≪問い合わせ先≫にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

≪問い合わせ先≫

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：放射線科部 松田 一洋

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）